

# 歴史と景観に恵まれた松ヶ崎を、 道の駅を生かして広めたい

～松ヶ崎づくり計画～



平成25年10月  
松ヶ崎地区公民館

初版

歴史と景観に恵まれた松ヶ崎を、  
道の駅を生かして広めたい  
～ 松ヶ崎づくり計画 ～

もくじ

1 計画書の説明 .....	1
2 推進体制 .....	2
3 松ヶ崎の歩み	
(1) 沿革 .....	3
(2) 松ヶ崎地区の地勢と歴史 .....	4
(3) 松ヶ崎地区の現在 .....	7
(4) 松ヶ崎地区の人口の推移 .....	8
4 行動計画の説明 .....	9
5 松ヶ崎地区はこうありたい（行動計画） .....	10
6 行動計画の実行 .....	18
7 進み方の確認 .....	19
○参考資料	
〈資料1〉 .....	20
〈資料2〉 .....	38
あとかき .....	46

# 1 計画書の説明

第4次垂水市総合計画において、本市における地域づくりは、境・牛根・松ヶ崎・協和・垂水・水之上・大野・柗原・新城の9つの地区公民館を活動の拠点としています。

地域にはそれぞれの文化や歴史、社会資源があります。その中で育まれた特性を住民が理解し、地域の将来をみんなで考えていく必要があります。

この計画書は、こうした第4次垂水市総合計画の基本構想にもとづき、地域住民の手による地域の特性を生かしたまちづくりである「松ヶ崎における地域振興計画」として策定されました。

計画の策定は、松ヶ崎地区住民により構成された計画策定委員が、今後の地区のありたい姿について意見を出し合い、これから行動していく計画を「松ヶ崎づくり計画」としてまとめていきました。

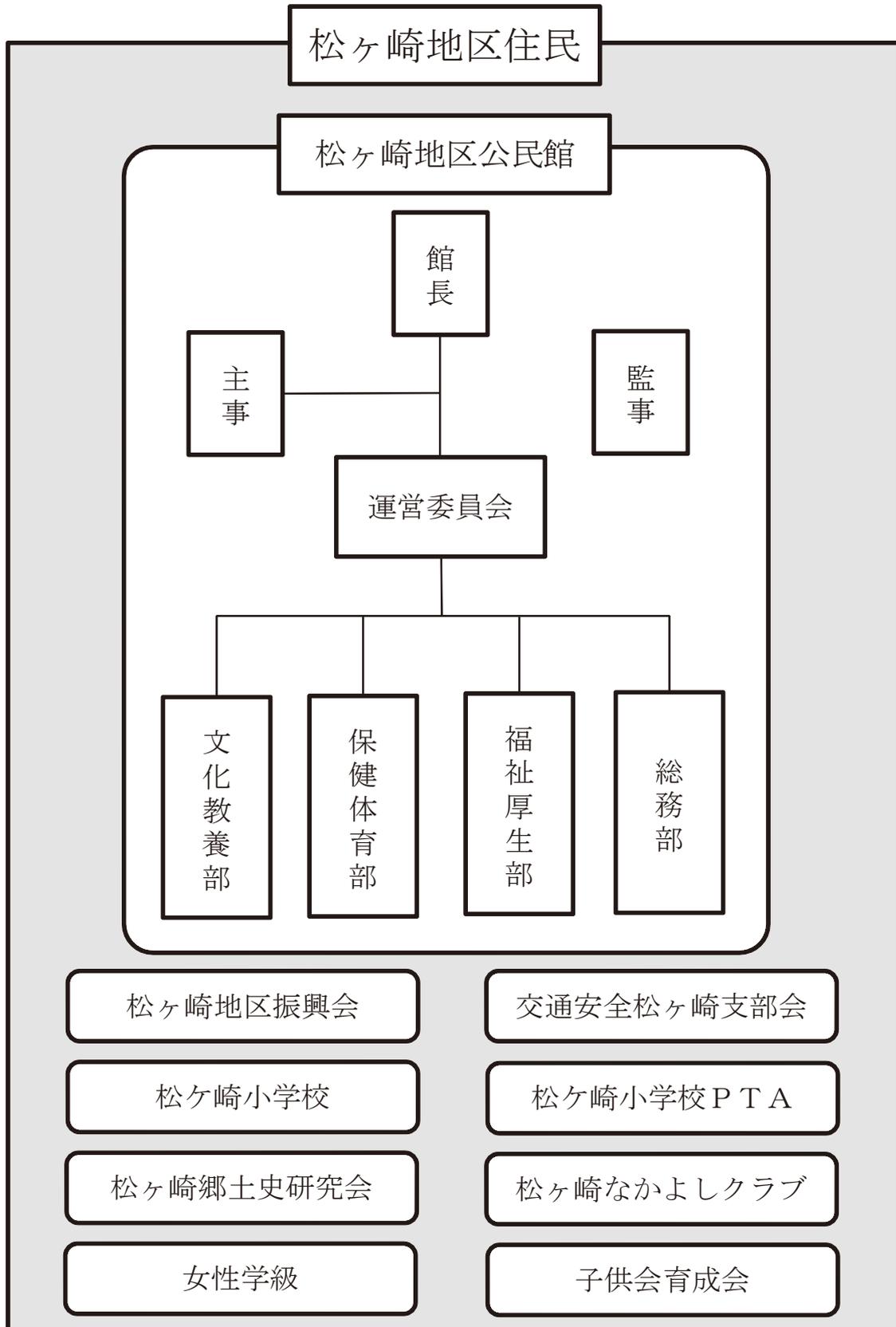
松ヶ崎づくり計画策定委員会の中では、地区の全世帯を対象に実施したアンケートの結果などをもとに協議を重ね、浮かび上がってきた「こうありたい」という姿に近づくために、「だれが」、「いつ」、「何をやる」という具体的な形を行動計画としてまとめました。

なお、この計画は平成25年度から平成34年度までの10年間の計画ですが、期間中であっても計画の修正や変更を行えるものとしています。

この計画書を活用し、わたしたちは行政とも協働しながら、より魅力あふれる松ヶ崎を目指して歩んでいきます。



## 2 推進体制



### 3 松ヶ崎の歩み

#### (1) 沿革

昭和 30 年	牛根村、旧垂水町、新城村を廃止し、新たに垂水町となる
昭和 33 年	垂水市制施行
昭和 45 年	松ヶ崎小学校創立 100 周年記念式典
昭和 47 年	国鉄大隅線開通営業開始
昭和 62 年	国鉄大隅線が廃止
平成 5 年	松ヶ崎地区公民館が完成
平成 17 年	道の駅たるみず開設
平成 20 年	牛根大橋開通
平成 21 年	グローバル・オーシャン・ワークス株式会社が立地協定を締結
平成 22 年	牛根中学校閉校記念式典
平成 24 年	埋没鳥居の遊歩道・展望公園が整備される
平成 24 年	松ヶ崎郷土史研究会が岡山市の郷土史研究会と姉妹提携を結ぶ
平成 25 年	宇喜多秀家公潜居地跡周辺が整備される



## (2) 松ヶ崎地区の地勢と歴史

### 1 松ヶ崎地域の特性

松ヶ崎地区は、始良カルデラの縁に位置し、前は深海の錦江湾、後は標高880メートルもある鹿倉峠（<sup>びしゃご</sup> 鷗岳）の山並みで、山麓の間にある土地を拓いて田畑が作られています。産業としては農業が主で、かつては林産物で生計を立てていました。中でも林業は松ヶ崎の特産で、<sup>さんごくめいしょうずえ</sup> 三国名勝図絵にも牛根の薪として紹介され、特に牛根松は好評を博していました。

このように松ヶ崎地域は前は海、後は鹿倉峠を中心に一大森林地帯を現出し、深山幽谷雑木天を覆う所でしたので、最適の隠れ場所であったとして著名な史跡が遺されています。

貴重な史跡としては、安徳帝と平家の落人伝説（居世神社と陵）をはじめ、関ヶ原の戦いに敗れて島津を頼り潜居した宇喜多秀家公の屋敷跡、幕末には島津斉彬公が幕府の目を盗んで軍艦を造った麓部落の脇田造船所跡、また太平洋戦争の末期に造られた海軍の水上機の秘密基地跡等があります。



▲展望公園からの景色

### 2 松ヶ崎の歴史

#### ①松ヶ崎城と稲荷神社（埋没鳥居）

松ヶ崎は古くは麓村と呼ばれ、この地区に属する集落は麓・居世神・口輪・辺田・中浜を含んでいました。牛根郷とは主として麓村を指し、他の牛根地区の行政も麓集落のお仮屋（地頭仮屋）で行われました。

お仮屋が置かれた麓集落は、標高181メートルの山城である松ヶ崎城（入船城・牛根城）の麓に位置しており、平家の落人が源氏方の探索に備えた山城であったともいわれています。

暦応（北朝 1338～1341）の頃、牛根兵衛五郎道綱が居城した後、池袋氏（約100年）を経て国分の本田<sup>ただちか</sup>薫親の所領、そして天文21年（1552）大隅

の高山城を本拠地とする肝付氏が領有することになります。

入船城の守将となった一族の安楽備前守兼寛あんらくびぜんのかみかねひろは、早崎の砦と連携して薩・日・隅の三州統一をめざす島津軍と元龜3年（1572）から天正2年（1574）1月まで激突することになりました。その時の戦死者の首を物干し竿につるしたところ八百八竿あったといわれ、いかに戦死者が多かったかがわかります。この笠仏首塚の跡には、文政2年（1818）六地藏塔が建てられ笠仏の地名が遺されています。

松ヶ崎城が落城すると、松ヶ崎は島津にとって極めて重要な地として、島津が直接治める「お仮屋」を置き、伊集院魯笑斎久道いじゅういんろんしょうさいひさみちを初代の地頭に任じて治政に当たらせました。久道は庶民の民心を慰撫するため、また島津の権勢を誇示するために、島津の氏神である稲荷神社を創建しました。

この稲荷神社の鳥居が、大正3年（1914）桜島の大爆発により埋没し、それから100年を迎えようとする今日には、地域の人々からも忘れ去られたような状態でしたが、平成23年度駐車場や遊歩道・展望公園等が整備され、一躍脚光を浴びるようになりました。



▲稲荷神社

## ②豊臣政権の五大老の一人、宇喜多秀家公の潜居跡

慶長5年（1600）の天下分け目の関ヶ原の戦いで、西軍の武将として1万7千の兵を率いて参戦した備前岡山城主の秀家公は、敗れて美濃国（岐阜）の白檜村に潜伏後、慶長6年（1601）薩摩の島津を頼ります。島津はこれを受けて牛根郷の平野家に秀家公を匿うよう命じました。平野家では平野原の山手にある上屋敷（本宅）を公主従の住まいに提供し、数人の郷士を配置して監視と警護に当たらせ、家人と共に隠居所としていた別宅（現住地）に移りました。

秀家公は、平野家の上屋敷で2年3ヶ月を過ごしましたが、平野家が平家の水軍の末裔で、上屋敷の近くの七人塚は山伏に扮した源氏の追討使七人を、平野家で討ち果たしその霊を慰めるために建てられたものであることや、麓集落の居世神社は安徳帝をお祀りしていることなどを知り、七人塚と居世神社を日参されました。

また、秀家公が潜居地牛根にて詠まれた歌が残されています。  
「うたたねの 夢は牛根の里にさへ 都忘れの菊は咲きけり」  
平成 24 年度には、秀家公潜居跡の案内板や駐車場・潜居跡までの遊歩道も整備され、多くの人々が訪れるようになりました。



▲整備された遊歩道

### ③ 居世神社と陵

秀家公が日参をされたと伝えられる居世神社は、江戸時代後期の天保 14 年（1843）薩摩藩が編纂した「三国名勝図絵」によると、祭神一座、欽明天皇の皇子であるとして、上古十二月二十九日の夜一艘の空舟が渚に漂流し、十三歳で薨ぜられ墓所を陵と称えたことまで、神殿の旧記に基づき詳細に記されています。

これに対して、欽明天皇の御代（531～571）までは、まだ暦法は伝わっていないのではとか、居世(こせ)は居世(いせ)と読み、平家に関係の深い伊勢であるとして、実は安徳天皇をお祀りしているのを無理に欽明天皇の第一皇子として時代を偽ったのではないかという説を、辺田集落出身の郷土史家で、大隅史談会の会長でした永井彦熊氏が、「落日後の平家」に著しています。

現在のご神殿は、350 年前の寛文 3 年（1663）に改築されたものですが、正面の梁に金色に輝く菊の御紋章が、皇室との関係を何よりも有力に物語っているものと思われます。平成 25 年 10 月には、神宮式年遷宮に合わせ、40 年ぶりに社殿改修が行われました。

執筆協力：松ヶ崎郷土史研究会会長 下世 吉美氏



▲宇喜多秀家公記念事業実行委員会

### (3) 松ヶ崎地区の現在

現在の松ヶ崎地区を語る上で重要な出来事として、道の駅たるみずの開設、文化や歴史の再発見の動き、企業の進出による雇用の拡大が挙げられます。

平成 17 年 4 月に豊富な農水産資源の活用や体験型観光等による交流促進施設として、「道の駅たるみず湯っ足り館」が開設されました。道の駅では松ヶ崎のビワ等の販売も行われ、市外や県外の来館者も非常に多く、休日はたくさんの観光客で賑わっています。

こうした道の駅への観光効果から、松ヶ崎を訪れる方が増加しています。

近年、松ヶ崎の歴史や文化を再発見する取組も進んでいます。住民の努力が実を結び、文化財に指定された稲荷神社の埋没鳥居とその周辺が、平成 23 年度に展望公園として、県の事業により整備されています。

松ヶ崎郷土史研究会では、宇喜多秀家公を縁とした岡山市の郷土史研究会との姉妹交流提携の調印や、歴史探訪のガイドを実施するなど、歴史文化の継承に努めています。また、史跡等の維持清掃活動だけでなく、平野ヶ原を桜の名所とする取組や、史跡等の公園化整備も行っています。



▲展望公園完成花見会(平成 24 年 3 月 31 日)

産業の面では、市内で養殖されたブリを加工し、輸出を行うグローバル・オーシャン・ワークス株式会社が平成 21 年度に立地協定を締結し、操業されました。同社は地元での雇用を優先され、新たな地域雇用の創出や地域活性化に貢献されています。また、平成 25 年度には養殖ブリの輸出実績を伸ばしたことが評価され、南日本新聞社が主催する南日本経済賞を受賞されました。

このように現在の松ヶ崎地区は産業や観光、歴史文化など多様な分野で盛り上がり、新たな局面を迎えています。この流れの中でわたしたちは松ヶ崎づくり計画を推進し、総力を挙げて松ヶ崎の魅力をさらに磨き、広げていくことを目指します。

#### 【参考資料】

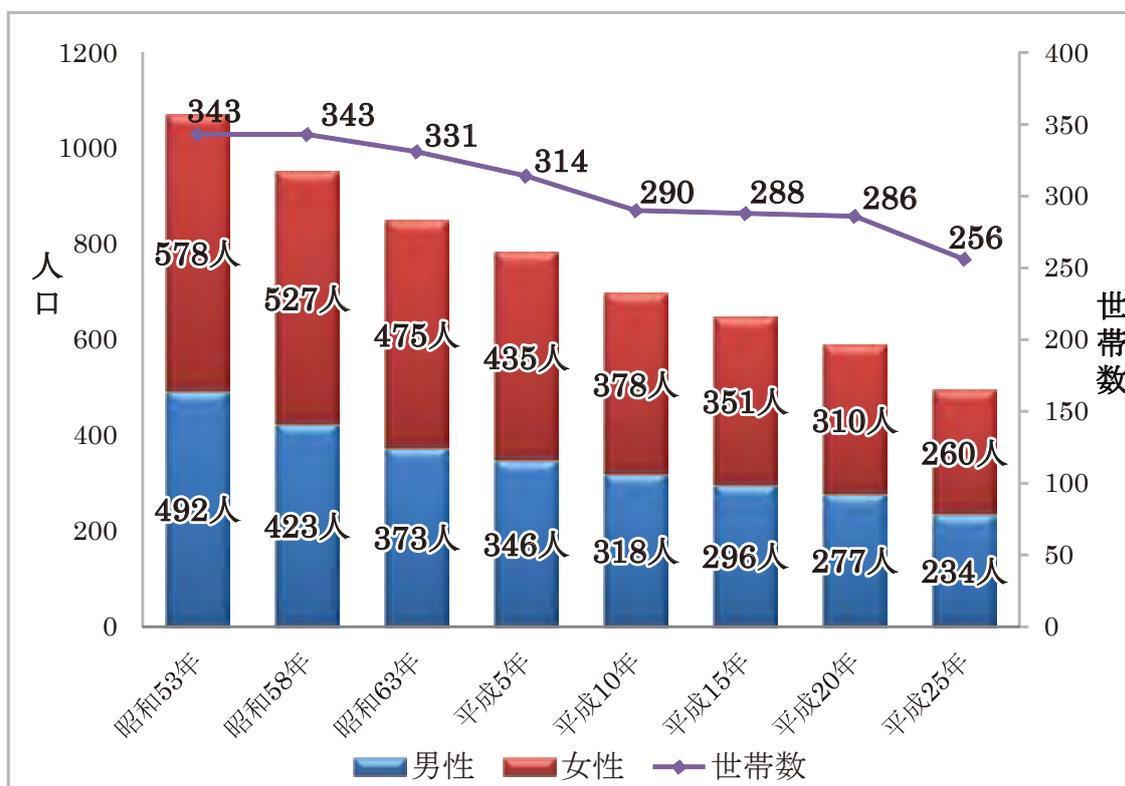
『垂水市史(上・下巻)』

『市勢要覧 2008』

『平成 25 年度教育行政要覧』

『道の駅たるみず提供資料』

#### (4) 松ヶ崎地区の人口の推移



資料：住民基本台帳



▲朝のあいさつ運動

## 4 行動計画の説明

今後の松ヶ崎地区のありたい姿を考え、計画策定委員が意見を出し合った結果、目指していく理念として、「歴史と景観に恵まれた松ヶ崎を、道の駅を生かして広めたい」という大きな目標を決定しました。

この大きな目標は、歴史や景観などの素晴らしい地域資源の魅力を磨きながら、多くの方が訪れる道の駅を拠点として、松ヶ崎の良さを発信していくという考え方を表しています。

次のページより掲載されている行動計画表の中には、それぞれが目標に向けて実際に行動していく項目を記載しています。

各行動計画はその内容によって「分類」、「こうありたい」、「だれが」、「いつ、何をする」、「市役所関係課長等の見解」として整理されていますので、その詳細を説明します。

**分類**…各項目を「人」、「環境」、「産業・文化」に関することとして大きく分類しています。

**こうありたい**…行動計画を実行することで目指していく、これからの松ヶ崎地区の在り方を記載しています。

**だれが**…行動計画を実施する主体や、関係組織です。また、下段には国や県といった関係機関、市の関係課名を記載しています。

**いつ、何をする**…行動していく内容です。取り組む時期の目安として、前期（1～3年）、中期（4～6年）、後期（7～10年）があり、囲いの長さで期間を表しています。また、下段は市関係課の行動です。

**市役所関係課長等の見解**…市関係課の各行動に対する見解です。

## 5 松ヶ崎地区はこうありたい（行動計画）

分類	こうありたい	だれが		いつ、何をする			市役所関係課長等の見解			
		・団体名 ・市 ・県 ・国		前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)				
人	住みやすい松ヶ崎をつくりたい   ▲女性学級	松ヶ崎地区公民館  各振興会  民泊受入家庭  松ヶ崎なかよしクラブ  自主防災組織		 ▲松ヶ崎地区公民館敬老会			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     ○地域で子どもを見守る体制をつくる。                      ○若い世代をもっと地域へ呼び込み、世代間の交流を増やす。                      ○独居老人への声かけ運動を推進し、協力して助け合う松ヶ崎にしていこう。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     ○自主防災組織の活用を推進する。                      ○買い物弱者の対策を考え、実行する。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     ○空き家を有効活用し、移住者を受け入れる。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     ○教育旅行・民泊の受入家庭を増やす。                 </div>			※1 現在、高齢者の方へ向けて訪問給食事業を通じ声かけを行っています。また、平成25年度から始まった暮らし安心・地域支え合い推進事業を活用して、高齢者等への見守りや生活支援の推進を行っていきたくと考えています。 子どもについては、母子保健推進員等を通じた乳児全戸訪問事業や、乳幼児健診等の場を通じて気になる子どもの相談や訪問など見守りを行っています。 今後は、保育園や幼稚園、教育委員会、公民館、地域等で連携を取りながら支える体制を構築していくことが必要と考えます。  ※2 自主防災組織は、災害のおそれのあるとき、災害初動時の活動に特に重要な組織です。松ヶ崎地区の自主防災組織は校区全体で組織されています。これまでも、防災マップの配布や防災機材の備蓄、防災に関する講演会等を実施してきましたが、引き続き訓練や研修会などを通じ、支援強化を図っていきます。  ※3 空き家バンク制度や支援制度の情報発信に努め、登録数を増やしていきたいと思えます。なお、空き家バンクへ登録をする際に、家財道具の処理費用の補助として、平成25年度より空き家有効活用推進事業支援補助金が始まりましたので、ご利用ください。  ※4 松ヶ崎地区に進出したグローバル・オーシャン・ワークスは、地元からの優先雇用をされるなど、雇用の場の確保に寄与いただいています。今後も更なる雇用拡大をお願いするとともに、新たな事業所が進出するように企業誘致の取組を進めたいと思えます。  ※5 現在大隅地域振興局と連携し、住宅改造や遊漁船業取得に関する補助や、ツーリズム推進に関する助成制度を設けています。実際にどのような補助制度が必要かを市のツーリズム推進協議会に具体的に申し出ていただければ、ご相談に応じます。  ※6 現在住宅政策は、公営住宅における住環境の整備や管理の方針として、市営住宅に対するニーズや財政状況を考慮しながら既存の公営住宅を効率的に活用するため、公営住宅の長寿命化計画を策定し、予防保全的管理や長寿命化に資する改善を推進していくこととしています。
		市	保健福祉課	○高齢者や子どもの見守り・生活支援を推進する。※1						
			総務課	○自主防災組織の維持・強化への支援を行う。※2						
			企画課	○空き家バンク制度の推進に努め、情報発信を行う。※3						
				○雇用の場の確保に努めていく。※4						
			水産商工観光課	○教育旅行や民泊の受入家庭になるための支援を行う。※5						
土木課	○公営住宅の長寿命化を推進し、効率的な運用に努める。※6									

分類	こうありたい	だれが		いつ、何を			市役所関係課長等の見解		
		・団体名 ・市 ・県 ・国		前期(1~3年目)	中期(4~6年目)	後期(7~10年目)			
環境	<p>美しい松ヶ崎をつくりたい</p>  <p>▲愛校作業のようす</p>	<p>松ヶ崎地区公民館 各振興会 松ヶ崎小PTA 子供会育成会</p>		<p>○道の駅や公民館周辺を定期的に清掃する。 ○通学路などの降灰を除去するために、貸出用のロードスweeperを導入し、灰に負けない松ヶ崎にしてい</p>  <p>▲ロードスweeper</p>			<p>※7 所有者若しくは管理者に除草等の依頼文書を郵送しています。なお、歩道等での通行に交通安全対策として実施する必要がある際は、道路管理者の判断に拠るところとなります。</p> <p>※8 市が管理している準用河川は23河川ありますが、近年草木(ダッチク)等が繁茂し、その対策に苦慮しているところです。河床整備につきましては、土砂の堆積状況や緊急性を考慮し、計画的に実施を検討したいと思います。</p> <p>※9 クロマツの苗木については、森林組合等を通じ抵抗性の苗木が購入できます。また、育成についての情報提供や指導等については、大隅地域振興局や県森林技術総合センター等関係機関に本課から依頼する等のご相談に応じられます。</p>		
				<p>○地元の特徴的な樹木を調査し、発信していく。 ○クロマツがうまく育つ方法を研究し、植樹する。 ○松ヶ崎に来た人がクロマツに名前をつけて植樹することができる場所をつくる。</p>					
				市・国	生活環境課	<p>○通行の妨げになる草木の除去について、所有者等への指導を行う。※7</p>			
				市	土木課	<p>○地区内河川の寄洲や流石の計画的な除去を検討する。※8</p>			
農林課	<p>○クロマツについての情報提供や指導等について支援する。※9</p>								

分類	こうありたい	だれが		いつ、何をする			市役所関係課長等の見解	
		・団体名 ・市 ・県 ・国		前期(1~3年目)	中期(4~6年目)	後期(7~10年目)		
環 境	<p>みんなが集う楽しい 鉄道跡地をつくりたい</p>  <p>▲鉄道跡地</p>	<p>松ヶ崎地区公民館 各振興会</p>  <p>▲鉄道跡地のアジサイ</p>		<p>○鉄道跡に観光地をつくるために、特色ある新名称をつける。</p>			<p>※10 鉄道跡地の舗装を辺田の林道入口から道の駅の大迫川までの約1.3kmと、牛根麓居世神社から仏石川の約120mの区間を本年度実施致します。残りの仏石川から道の駅の大迫川までの約700m区間には、林道の舗装計画があり、建設部の方で魚安商店の上側を砂防工事を実施していますので、終わり次第実施する予定です。</p> <p>※11 道の駅の運営に関しては、現在指定管理により民間企業に委託しているところです。企業としての経営理念等もあることですので全てご協力できるとは限りませんが、地域との共生という観点で協力できることであれば遠慮なく相談していただきたいと考えています。</p> <p>※12 道の駅を拠点とした貸し自転車の構想に関しては、平成19年度より「垂水市潮風街道構想」として県に提言しており、その一環として平成23年度から埋没鳥居展望公園や宇喜多秀家潜居地跡の整備事業などを行っているところです。今後は陵の駐車場整備や宇喜多秀家公の展望公園の整備などを行い、併せて道の駅の多目的広場の改善などについて県と協議しながら、県の魅力ある観光地づくり事業での整備を進めていきたいと考えています。</p> <p>※13 屋外広告物は適切に規制し、良好な景観を維持しなければなりません。公民館活動等、公共性の高いものについては、その都度協議し進めていきたいと考えています。</p> <p>※14 横断歩道や信号機の設置については、鹿児島県公安委員会の管轄であることから、地元（振興会、地区）から警察に要望することが必要になります。市としましても市民の安心・安全の観点から、要望書には振興会長や市長及び地区関係者の連名で警察署に提出しているところです。また、要望書の作成についても協力していきたいと思っております。</p>	
					<p>○鉄道跡を道の駅を発着点とするサイクリングロード・ジョギングロードとして整備し、着地型観光を目指す。</p>			
					<p>○サイクリングロード・ジョギングロードを訪れた人に文化財や歴史を紹介する案内板・マップを作成する。</p>			
					<p>○桜・イチョウ・アジサイ・つわなど、四季の花々を植える。 ○お金になるような植物を植えて、事業の活動費をつくっていく。 ○海側は眺めが良いように背の低い植物を植え、背の高い植物は山側に植える。</p>			
		市	農林課	○鉄道跡地の道路整備は、実施の方向で前向きに考える。※10				
			水産商工観光課	○道の駅との連携については案件別に支援の協議を行う。※11				
				○貸し自転車事業については、実施に向けて検討する。※12				
			土木課	○屋外広告物の設置は、その都度協議していく。※13				
			市民相談サービス課	○国道の横断歩道や信号機設置に関する要望書作成等の支援を行う。※14				

分類	こうありたい	だれが	いつ、何を			市役所関係課長等の見解
		・団体名 ・市 ・県 ・国	前期(1~3年目)	中期(4~6年目)	後期(7~10年目)	
産業・文化	<p>魅力ある松ヶ崎をつくりたい</p>  <p>▲道ノ駅たるみず</p>  <p>▲ピワジャムづくり</p>	<p>松ヶ崎地区公民館 各振興会 松ヶ崎郷土史研究会 生産者組織 女性学級 松ヶ崎小PTA 子供会育成会 松ヶ崎なかよしクラブ</p>	<p>○麓の「冷泉」を特産品にできるように調査し、販売する。</p> <p>○ピワのオーナー制度をつくり、収穫や袋かけ体験を行うことで、ピワ街道の振興を図る。</p> <p>○農作物を鳥獣の被害から守るよう、山林の手入れなどを自ら行い対策していく。</p> <p>○特産品を開発し、道の駅と提携して販売していく。 ○道の駅を会場にして地域のイベントを行い、松ヶ崎に人を呼ぶ。 ○道の駅の利用者に対して、地元の食材を使った料理体験を開催し、食べてもらう。 ○特産品開発や料理教室開催のため、地区公民館の調理室を改善するよう要望する。 ○道の駅に松ヶ崎の名所の案内板やマップを設置する。 ○休日に道の駅の駐車場が不足するため、増設するよう要望する。 ○道の駅の前に海釣り公園をつくるよう要望する。 ※15</p> <p>○地元の神社や文化財を大事にして、守り伝えていく。 ○知識の豊富な人を育成し、史跡のガイドとして活用する。 ○宇喜多秀家公潜居跡などの史跡への道を手入れする。 ○郷土芸能棒踊りを復活させ、保存会指導者・後継者を育成し発表の場をつくる。 ○歴史の舞台である早崎・咲花平を子どもたちに伝えていく。</p>			<p>※15 海づり公園については、道の駅建設当時から構想の中で検討してきた課題ですが、膨大な費用がかかることや運営をどこにするのか等の問題が解決していない状況です。 また、鹿児島市や桜島の海釣り公園が赤字であることなどから、それらと同種の公園建設は現在の場所における実施は難しい状況であり、新たな方法等の検討が必要です。(水産商工観光課)</p> <p>※16 道の駅の駐車場に関しては、慢性的な不足状況ではないことから、増設するにはそれなりの数値的なデータが必要であると思われます。現在、魅力ある観光地づくり事業での整備について県と協議を行っています。</p> <p>※17 地域の観光情報について案内板やマップを設置するのはやぶさかではないですが、限られたスペースであることから、大きさや内容、事業費等について地域で協議していただいたのち、設置場所等について協議を申し入れてください。</p> <p>※18 現地に関しては、平成24年度事業で潜居地跡の整備を行い、現在展望所の建設を県の魅力ある観光地づくり事業で行っています。今後の事業展開に関しても地元の要望等は県に伝えてあり、地権者との協議など地元との協力がいただければ前向きに検討できると考えています。</p> <p>※19 有害鳥獣の捕獲については、捕獲数の増加を目的とした国の緊急捕獲事業を実施しております。 被害防止については、集落・ほ場等を対象とした電気柵資材等購入の補助事業があります。国の事業で、申請してすぐ交付とはいきませんが機材・資材の費用が補助されます。但し、作業員の賃金等は補助対象外です。</p> <p>※20 地域振興計画の趣旨を踏まえ、地区公民館活動の推進発展のために地区公民館や関係各課との具体的な協議を行いながら進めていきます。</p> <p>※21 松ヶ崎地区には古代から中世、近代に至るまで多くの史実や伝説、有形無形の文化財が存在しています。これらを教育や地域おこしに活用し、次代へ継承していくには、行政だけでは難しく、地元の方々の理解と協力が不可欠です。松ヶ崎地区には地元の有志からなる郷土史研究会が、自主的な取組が活発に行われていることは特筆すべきことです。社会教育課では地区公民館や郷土史研究会等と連携し、文化財の指定化、説明板や標柱の設置、補助金支給、人材育成、各種講座開設等により、これらを現代に生かしながら、貴重な学術的資料として保存に努めています。</p>
		市・国	水産商工観光課	○道の駅の駐車場の増設は、道の駅からの要望があれば道の駅と協議する。 ※16		
		市		○道の駅への案内板やマップ設置に関する支援については、要望があれば協議する。 ※17		
		市・県		○平野ヶ原の公園化や、宇喜多秀家公史跡周辺の一體的な開発については、実施に向けた検討をする。 ※18		
		市	農林課	○鳥獣害対策への支援を行う。 ※19		
	社会教育課	○地区公民館の調理室の改善・充実に向け協議を行う。 ※20				
		○地域の歴史や伝統文化の継承を支援する。 ※21				

## 6 行動計画の実行

行動計画を実行に移していくための具体的な取組を考えていきます。始めは小さなことからでも、全体の流れを想像していくことで、行動計画を現実的にイメージしていきます。

このようにして、みんなで話し合いながら例のような表を作り、実際に行動計画に取り組みます。

### 実施計画（例）

行動計画項目	
--------	--

主体 (だれが)	取り組む時期 (いつ)	取組の内容 (何をやる)	備考



▲草取りウォーキング

## 7 進み方の確認

長期間に及ぶ計画になるので、毎年みんなで進み方の確認や、行動計画の見直しを行います。具体的には確認シートなどを参考にして、項目ごとの進み具合を確認し、改善点を考えていきます。その際、より良い行動計画の進め方や、課題などがみえてきた箇所について、話し合いを行います。

その後、変更が必要となる箇所の修正や、新しい行動計画の追加等を行った結果を行政に報告します。

### 確認シート様式（例）

振り返りの年度：平成●年度（●年目）

確認日：平成●年●月●日

こうありたい	取組の状況 (凡例参照)	現在の状況や、新しい課題 (自由に記述)

#### 凡 例

- ◎：達成、改善することができた
- ：一定の成果、改善がみられた
- △：あまり進めることができなかった
- ×：取り組めなかった

## 資料 1

### (1) 松ヶ崎づくり計画策定委員会規程

#### (設置)

第1条 第4次垂水市総合計画基本構想に基づき、松ヶ崎地区における地域振興計画を策定するため、松ヶ崎づくり計画策定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

#### (所掌事項)

第2条 委員会は、松ヶ崎づくり計画策定のための企画、調整及び素案・原案策定に関することについて処理する。

#### (組織)

第3条 委員会は委員長、副委員長並びに議長、副議長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は地区公民館長を、副委員長は公民館主事をもって充てる。
- 3 議長及び副議長は、振興連の中から選出する。
- 4 委員は、松ヶ崎地区公民館の運営委員、松ヶ崎地区地域担当職員リーダー及びその他委員長が特に選任する者をもって充てる。
- 5 委員は、松ヶ崎地区公民館長が委嘱するものとする。

#### (委員長等の職務)

- 第4条 委員長は、委員会を代表し調整役として委員会を総理する。
- 2 副委員長は、委員長に事故あるとき又は欠けたときに、その職務を代理する。
  - 3 議長は、会議の議長として会議を掌理する。
  - 4 副議長は、議長に事故あるとき又は欠けたときに、その職務を代理する。

#### (委員会の招集等)

- 第5条 委員会は、委員長が必要に応じ招集する。
- 2 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させて意見を聴くことができる。

#### (事務局)

第6条 委員会の事務局は、松ヶ崎地区公民館に置く。

#### (委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

#### 附 則

この規程は、平成25年4月12日から施行する。

## (2) 松ヶ崎づくり計画策定委員会名簿

	委員名	策定委員会職名	各種団体等役職名
1	久徳 洋一	委員長	館長、小中野振興会長
2	平野 眞澄	副委員長	主事
3	久留 周一	議長	福祉厚生部長、麓振興会副会長
4	岩下 洋蔵	副議長	大中野振興会長
5	村山 大海	委員	監事
6	磯脇 美鈴	委員	監事
7	下世 吉美	委員	総務部長、麓振興会長
8	山下 澄秀	委員	保健体育部長
9	榎並 敏春	委員	総務副部長、上の村振興会長
10	村下 雅俊	委員	保健体育副部長
11	榎並 良子	委員	文化教養副部長
12	堀添 國尚	委員	市議会議員、中小路分会長
13	寺地 光博	委員	松ヶ崎小学校長
14	宅間 万能	委員	松ヶ崎小学校教頭
15	神崎 由加里	委員	上ノ村振興会会計
16	上村 一美	委員	小中野振興会会計
17	篠原 久子	委員	麓振興会会計
18	中村 英理子	委員	東小路分会長
19	村山 五秧	委員	宮崎小路分会長
20	久保 和美	委員	消防第七分団長
21	久徳 秀次	委員	消防第七分団後援会長
22	湊崎 浩一	委員	松ヶ崎小PTA会長
23	尾脇 博之	委員	子供会育成会長
24	神崎 ユウ子	委員	辺田民生委員
25	久富木 哲	委員	麓振興会
26	徳留 博邦	委員	麓振興会
27	森木田 ひふみ	委員	小中野振興会
28	村山 芳秀	委員	地域担当職員

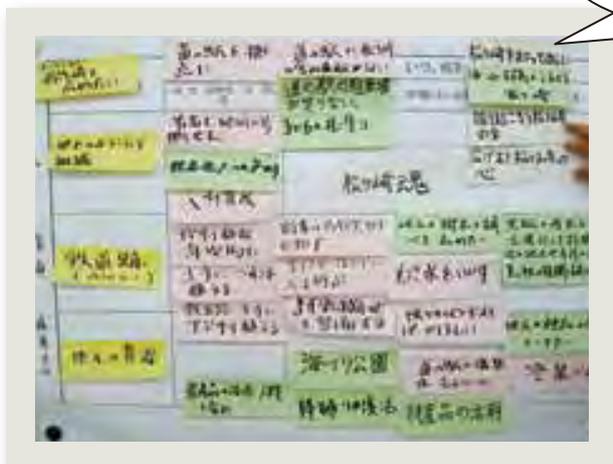
### (3) 策定経過

日付	名称	人数	内容
H25. 3. 20	まちづくり検討会	42名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島大学小栗准教授より計画づくりの講演を受ける</li> <li>・先行地区より助言を受ける</li> </ul>
H25. 4. 12	松ヶ崎地区公民館運営委員会	19名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画づくりの組織的な了承を得る</li> <li>・規程、アンケート実施について承認</li> </ul>
H25. 5. 28	第1回策定委員会	25名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定の取組スタート</li> <li>・アンケート集計結果報告、意見交換</li> </ul>
H25. 6. 11	第2回策定委員会	25名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麓と辺田に分かれての意見交換</li> <li>・大目標の協議</li> </ul>
H25. 6. 27	第3回策定委員会	22名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松ヶ崎地区の大目標の決定</li> <li>・行動計画づくり</li> </ul>
H25. 7. 17	第4回策定委員会	19名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南九州市颯娃町のNPO法人「颯娃おこそ会」への研修視察</li> </ul>
H25. 7. 31	第5回策定委員会	22名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修視察報告</li> <li>・行動計画づくり</li> </ul>
H25. 8. 19	第6回策定委員会	22名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅たるみず館長講話</li> <li>・行動計画の確認</li> <li>・市へ要望する項目の整理</li> </ul>
H25. 9. 17	第7回策定委員会	41名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市関係課長が同席し、市への要望に関する意見交換</li> </ul>
H25. 10. 22	第8回策定委員会	23名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書の仕上げ作業</li> <li>・計画書原案の承認・決定</li> </ul>
H25. 11. 27	報告会(鹿児島大学公開講座)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書完成報告</li> </ul>

#### (4) 松ヶ崎づくり計画策定委員会の様子



夜間の開催にも関わらず、大勢の委員が出席しました。



表からあふれるほど多くの意見が提案されました。



今後取り組んでいく行動計画について、真剣な協議が行われました。



南九州市のNPO法人頼娃おこそ会のまちおこしの取組を研修視察しました。  
 (取組の概要)

- ・ 番所鼻公園の活性化
- ・ 釜蓋神社 (写真) の集客事業
- ・ 大野岳の整備と茶農家による組織「茶寿会」の連携
- ・ 拠点間を繋ぐ一体的なまちおこし

## (5) アンケートの実施と結果

### 1 アンケートの概要

行動計画を策定するにあたり、松ヶ崎地区住民の声を松ヶ崎づくり計画に生かし、より多くの意見を募るために、アンケート調査を行いました。

このアンケートの中では、松ヶ崎地区の長所や課題、これからの松ヶ崎地区に望むことを調査しています。

具体的に各設問で調査した内容は次のとおりです。

【設問1】 回答者の年齢、性別。

【設問2】 松ヶ崎地区の生活に満足しているか。

【設問3】 (設問2で満足していないと回答された場合) 今後重点的に行ってほしい取組。(選択式)

【設問4】 松ヶ崎地区の好きなおとろ、伸ばしていきたいこと。

【設問5】 10年後の松ヶ崎地区がどうなってほしいか。

【設問6】 これからの松ヶ崎づくりに関する意見など。

「松ヶ崎づくり計画」アンケート

【設問1】 回答者の年齢、性別。

性別	男性	女性						
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代

【設問2】 松ヶ崎地区の生活に満足しているか。

1. 満足している ( )    2. 満足していない ( )

【設問3】 (設問2で満足していないと回答された場合) 今後重点的に行ってほしい取組。(選択式)

1. 環境整備    2. 防災対策  
3. 産業振興・観光    4. 高齢者の生活支援  
5. その他 ( )

【設問4】 松ヶ崎地区の好きなおとろ、伸ばしていきたいこと。

【設問5】 10年後の松ヶ崎地区がどうなってほしいか。

【設問6】 これからの松ヶ崎づくりに関する意見など。

▲アンケートの様式

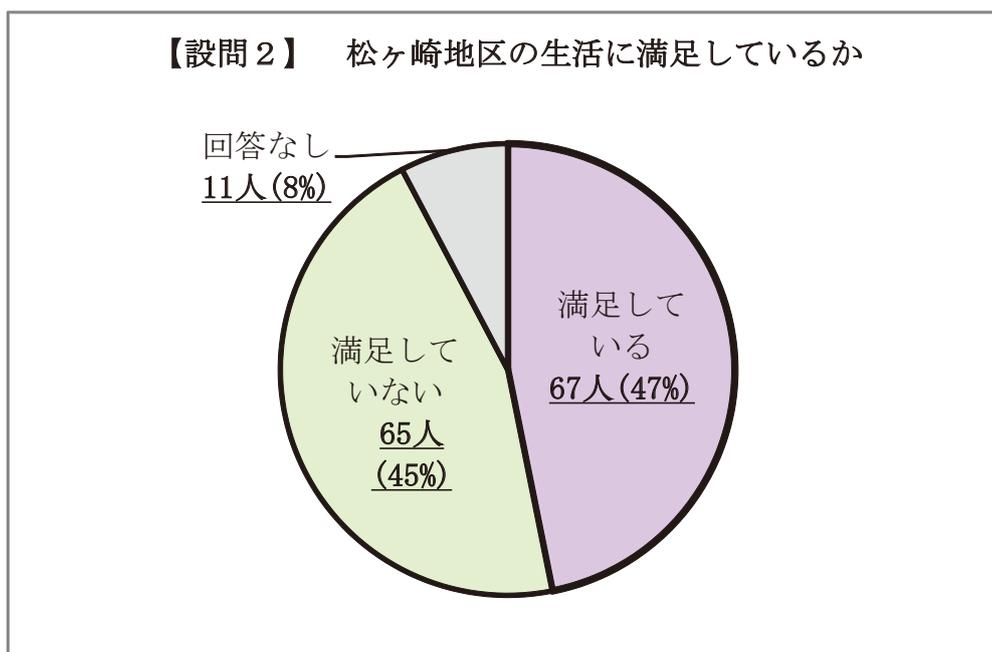
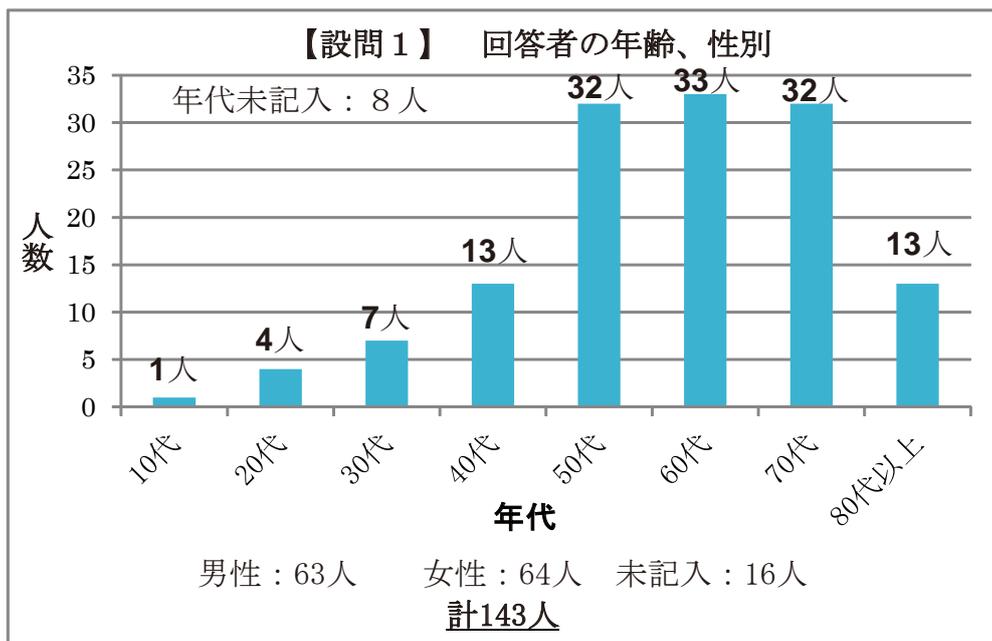
## 2 アンケートの集計結果

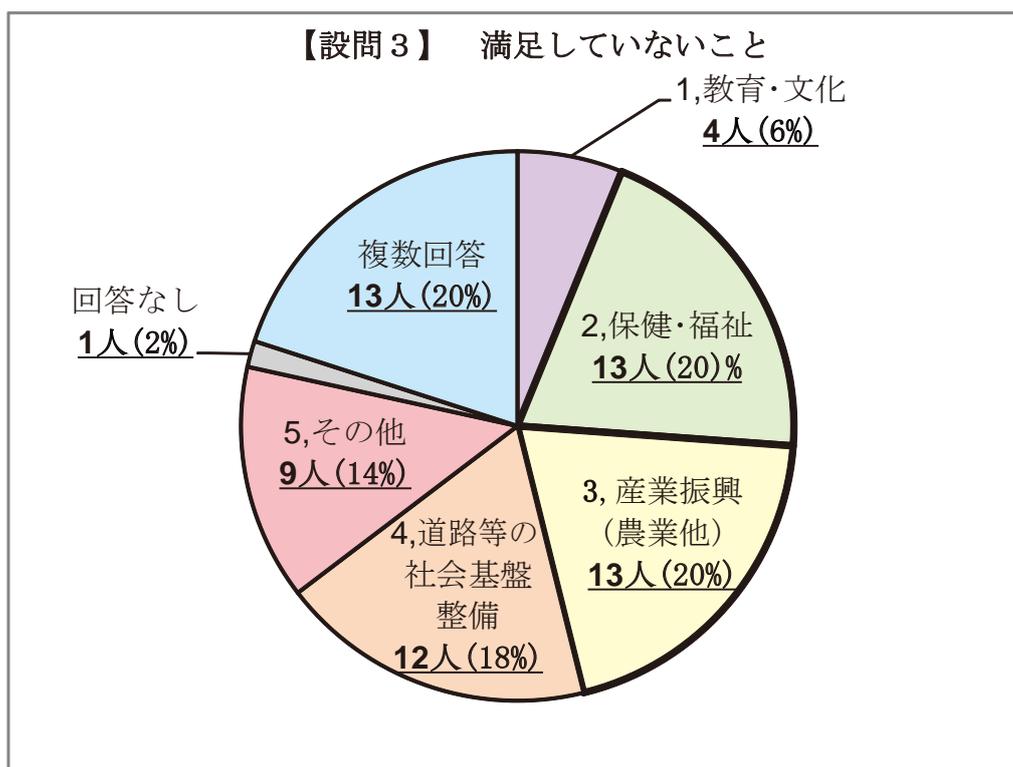
実施期間：平成 25 年 4 月～ 5 月

総依頼数：236

回答数：152

回答率：64%





**【設問3】 満足していないこと**

※以降の自由記述の回答は、アンケートに記入された書き方で掲載しています。

番号	その他の回答
1	垂水市及、振興会等からの放送連絡がきこえない等
2	若者が少ない
3	松ヶ崎の地にある道の駅をもっと地元の人達も協力してもらってほしい
4	ロードミラー、街灯等が不十分
5	すべてにおいて不満です
6	車社会の中、自宅まで車が入れられない事
7	市営住宅 人口増加
8	若者が住みやすい所にしてほしい
9	地理上の問題
10	住宅、団地を作ってほしい
11	災害に強い地域づくり

【設問4】 松ヶ崎の好きなところ、伸ばしていきたいこと

※設問4・5・6の回答について以下の4種類に分類し表示しました。

- ①人に関すること、②環境に関すること、③産業・文化に関すること、  
④その他

番号	①人に関すること
1	今でも十分です。一人でも多く声かけを又助け合を
2	人間関係を深めて行きたい
3	古世神社や小学校などの奉仕作業への協力、まとまり
4	人情の厚いきれいな水がおいしい所
5	人と人のふれあい
6	みんな笑顔で声をかけ合うところ
7	・人情味があり、自然が豊かで、歴史的文化財がある ・経済的面で現金収入が増えればいいと思うが…
8	みんなで協力し助け合う松ヶ崎にしていく
9	みんながやさしく親切なところと協力し合えるところ
10	ゆっくりした時間、人の温厚な所
11	隣近所の交流がある いつでも何処でも積極的な対話出来る様に
12	松小の子供たちとの今以上の交流
13	仲がいい
14	すみやすくて良いと思いますが、子どもがまだまだ増えればもっと活性化されると思います
15	皆さんやさしい
16	人口が増えてほしい
番号	②環境に関すること
1	海・山の自然が豊かな所 地域の特色
2	灰には困りますがでも海は近くて良い所です
3	海・山など自然が豊か 又、歴史の話題が豊富
4	気候が良いこと

5	自然にめぐまれている
6	地域住民が協力し合い地域を支えていること 景観が良い
7	海、山、静かさが好き
8	自然
9	自然が豊か（山、海）な所
10	桜島・自然・食べ物等
11	静かですみやすいところ 皆様方がやさしいところ
12	風景がきれいでのどかなところ
13	海が近くにある
14	自然環境
15	自然に囲まれているところ
16	鉄どう道などきれいに花が植えてあるので歩くのが楽しい
17	自然と観光
18	平和で静かな所がいいと思います
19	海や山があり自然がある所がいいです
20	桜島と錦江湾という景観に恵まれ、遠くは霧島連山を仰ぐ美しい所である。 歴史的に価値ある史跡がある。
21	自然が豊か、桜島の景観
22	海
23	生活環境が良く生活しやすい 住民の一人一人が色々な物にもっと挑戦すべきでは！
24	海が近い 海釣りのできる場所
25	自然がおおいところ。人口をふやしてほしいことです。
26	海がキレイな所
27	海が近い
28	海が間近にある事
29	自然の美しい所

30	自然、働く場所
31	自然に恵まれている
32	しぜんの美しい所
33	景色がとても素敵。人々が親切。
34	星・月・夕日が綺麗。歴史的価値の高い文化財が多い。
番号	③産業・文化に関すること
1	貴重な史跡がある所。この場所の環境整備を行い観光客を増加させる
2	松ヶ崎の文財の魅力をもっと伝えてほしい
3	桜島・錦江湾が好き。観光に力を入れてほしい
4	松ヶ崎の特産物のびわや歴史・文化財の広報
5	いなり神社がすてきです
6	海山における環境において県内外からの人に見て欲しい
7	歴史的なものが多い
8	山と海、自然を活かした歴史的な文化財を取り組んだPRと活用
9	『道の駅』という中核施設がある
10	絶景な桜島及び錦江湾を利用した海づり公園。できるのだったら。
11	知られていない歴史があったので今掘りおこされた歴史を伸ばせてほしい
番号	④その他
1	わからない
2	現状で良い
3	特になし
4	自分にとってはすごしやすい

設問5 10年後の松ヶ崎地区がどうなってほしいか

番号	①人に関すること
1	人口増
2	人口が増えてほしい

3	人口が増えてほしい
4	空き家住宅の利用（県外からの移住） 人口の増加
5	若者・子供が増えてほしい
6	若い人がすくない
7	人口が増えてほしい
8	人口が増えてほしい
9	若い人がふえてほしい
10	住民どおしお互いを尊重し仲良く協力するコミュニティーに
11	人口が増えてほしい
12	人口が増えてほしい
13	人口が増えてほしい
14	高齢化が進むが、人が集まる所であってほしい
15	人口が増えてほしい
16	子どもが沢山いてほしい
17	人口が増えているといいですね。願いたいものです。
18	人口が増えてほしい
19	若い人が多くなれば良いと思います
20	若い人たちが少しでも増えてくれたらいいですね
21	人口が増えてほしい
22	若者が増えて子供達が元気であそぶ
23	人口がふえて仕事が多くなってほしい
24	若者が定住出来る居住区になって欲しい
25	若い世代が増えていてほしい
26	若い人が増えていて子供からお年寄りまで楽しめる行事が充実していてほしい
27	若い人の人口が増えて活気あふれる松ヶ崎になってほしい
28	人口が増えていてほしい
29	若者が増えてほしい

30	人が増え、自分本意でなく人と人のつながりができていて欲しい
31	若い人が増えてほしい
32	若い人が少しでも入ってくるといいです
33	企業誘致して人口が増えてほしい
34	若者が働く職場がふえると人口が増えると思います
35	若い方々が住んで活気がほしい
36	人口が増えていてほしい
37	人口が減らないでほしい
38	アパート他が出てきて人口が増える事をお願いしたいです
39	若い人が増えてほしい
40	若者、子どもが増えていてほしいです
41	若い世代の人口が増えて欲しい
42	子供が増えてほしい
43	子供が増えてほしい
44	若者が定住してほしい
45	人が増えるような松ヶ崎にしてほしい
46	人口増加
47	若い人が増えてほしい
48	人口が増えて、小学校の児童数が増えてほしい。
番号	②環境に関すること
1	活力ある地域と人口増
2	活性化してほしい
3	高齢者に優しい町であってほしい
4	鹿屋のやねだん集落の様な活気ある松ヶ崎
5	いまのままで伸びのびした生活。そして子供達の人数が増えていればいいと思います。
6	社会福祉が整ったすみやすい所
7	安心して住める松ヶ崎
8	お年寄りに住みよい町づくりになってほしい

9	若者の住める場所になってほしい
10	『きれいな地域』ベスト10に選ばれる程の地域性になってほしい
11	海と山の自然を生かして老人でも生きがいの有る松ヶ崎
12	子どもの明るい声が響き、若者が生きがいを感じて働き、年寄りが安心して暮らせる町になってほしい
13	桜島の灰がなくなしてほしい
14	人の集まる場所・施設
15	桜島の活動がおさまり降灰のない地区になったら良い
16	集いの場所がほしい
17	海をきれいに！
18	若い世代が住みやすい地区 空家が沢山あるけど借りる事が出来ない
19	高齢者でも住みやすい（病院通院や買い物等しやすい）
20	鹿児島と桜島渡る橋が出来て車で行ける様に成てほしいです
21	かんきょうせいびほし作業少ない
22	あき家がなくなる様に
23	今よりもさらに住みやすい場所(今も住みやすいけど)何をこの場所で大切にしたいか。
番号	③産業・文化に関すること
1	道の駅を中心にした歴史探訪の里
2	若い人達（子持ち）が働く場がほしい 新しい市営住宅の建設
3	観光地にするのであれば、沢山お客が来てくれればいいですね
4	道の駅などありたくさんの人が来てくださる様に
5	道の駅を中心とする整備された活気ある町
6	養老院ができてほしい
7	近辺にスーパーとかお店がほしいです
8	空家の有効利用
9	交流人口の増加に活気ある地区
番号	④その他

1	現状維持
2	先祖伝来の山林や田畑が昔のように活かされている
3	少なくとも現状維持でありたい（人、自然）
4	特にない
5	活気が欲しい
6	活気のない人間ばかりでこんな事を話す以前の問題ばかり
7	現状維持 道の駅が今の状態を保たれる事
8	若い人、自分の子供達が住める様な、若い人に何か？
9	豊かな暮らし
10	いないと思います
11	活気ある松ヶ崎

【設問6】 これからの松ヶ崎づくりに関する意見など

番号	①人に関すること
1	話題の豊富な人の育成（それぞれの専門的な知識）
2	校区合同運動会の事で地域の方一人でも多くさんの方に参加出来ることをお願いしたいです。 追伸 景品の貰う貰わないの事でなく1年に1回の交流の場所ですので楽しく過ごせるようにくれぐれもよろしくお願い致します。
3	50代以下が校区の高齢者のみなさんができないいろいろな力仕事をボランティアで手伝いしもちつもたれつの松ヶ崎にできれば
4	ホームステイなどいかがでしょうか？他県からきてもらいホームステイをしてもらう。白川郷のように泊まって松ヶ崎のいい所を見てもらう。そうすればかんこうきゃくもふえ、小学校もはんえいできたらいいなあーと思いました。それとジムが鹿児島しかないので体を動かせる場所もほしいです。
5	緑豊かな松ヶ崎、海の香りの松ヶ崎、高齢者とのこれからの付き合いをどう若い人たちが出来るか出来ないかでこの松ヶ崎が変わると思います。自分自身も頑張っていきたいと思っています。
6	空き家を利用して県外からの移住者を受け入れる
番号	②環境に関すること

1	松ヶ崎校区地域の各戸に消防車、自家用車が通ることが出来るように集落道の拡幅の整備が必要である。 年寄りが軽作業ができる場があったら生きがいにつながるのでは？
2	高齢化が進み高齢者の人口が増えて行くので住みよい街づくりを考えていかなければならないと思う
3	昔のように麓公民館で楽しい行事をしてほしい
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥や野獣の被害が多いので山林の手入れや柵の設置等に行政の補助があれば…</li> <li>・鉄道跡の道路の整備にあわせ現金収入につながるような作物の植え付けができないか…</li> <li>・住宅を整備して小学生がいる家庭の家賃の軽減を実施し松ヶ崎小学校の児童数の増加をはかれないか…</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路にお金をかける程の人口がいないのに整備するのはもったいないと思う。もっと要所要所をしぼって…。</li> <li>・道路沿いに公園を作る。</li> <li>・道の駅、公民館周辺が荒れているのを解消する。</li> <li>・観音崎に自販機を設置（地域にお金は下りないのですか？）</li> <li>・松ヶ崎も広いので年度別、地域別にでもその土地の高齢者のお祝いをしてあげたらいいのに。全体でないほうが参加される方もしやすいのではないか？</li> </ul>
6	買い物が不自由です。高齢者の方は特にたいへんだと思います。 使われていない農地の貸出しなど市内、市外の方でも農業（家庭菜園程度）されたい方を募集するなど。
7	コンビニのような店がほしい
8	歩道が少しずつきれいに広がってきていますが、ガードレールはつくれないのでしょうか…？
9	近くに介護施設があればいいと思います
10	交通の便を良くしてコンビニでも出来ればいいと思う
11	交通キカンもなく、車の運転ができない人は住みにくいと思う 地区住民が高齢化していくと人口は減る一方では？
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・降灰対策をする事</li> <li>・役にたたない消防団（税金のムダ使い）</li> <li>・児童クラブなど中央地区にはあってなぜ松ヶ崎にはないのか？</li> </ul>
13	公園

14	バスでの買物など重い物持つのもたいへん 一週間に1回位買物バスがあれば便利かな！一ヶ月に一回でもいいと思う。
15	私60代年金生活者です 自分で運転出来ず、買物など一人で行く事が出来ません。近年を取ればお金は有っても近くに店もないです。近くに今はやりの（ファミリー・ローソン）などが有ったら良いと思います。
16	人が増えるのが正体と考えるのは少し違うように思います。さらに高齢化が進行し、この地域で皆が連帯感を深めて協力し、住みやすさを追求する地域。 娯楽・清掃・仕事の分担を振興会の枠を超えて協力し合うような。
番号	③産業・文化に関すること
1	・過疎化対策　・休耕地・空家などの有効利用
2	海岸の利用法をもっと考える 潮干狩りや魚釣りなどで人を呼びこめるような対策を考えていけたらよいのでは？
3	環境的に不利な土地（働き場所がない、灰が降る、災害が多い等々）なのでそれを補う要素が必要。企業への誘致や道の駅を軸とした商業拡大等。 ※グローバルのような企業が入ってくる事で社員寮が出来、その社員が居住することで地域活動にも参加してもらおう。企業にもそのような活動参加をアナウンスしてもらおう。若い人がどんどん入ってもらい高齢者にもっと楽になってもらおう。
4	①松ヶ崎全体の史跡や文化財の場所を示す大型案内板の設置 設置場所 ・牛根大橋から麓集落に入るアクアブルー(株)付近 ・道の駅 ・国分方向から辺田集落に入る観音崎 ②父祖伝来の後継者で県内外に居住している人に松ヶ崎に帰ることをすすめる対策 ③具体的な空き家対策の検討
5	松ヶ崎の名所は多々ありますが、道の駅たるみずの温泉を利用して湯治場を造ったらどうでしょうか？ 道の駅に出荷された地元産の野菜や魚、肉を利用してお客さん自身に自炊してもらおうのです。
6	松ヶ崎の特産品をつくる



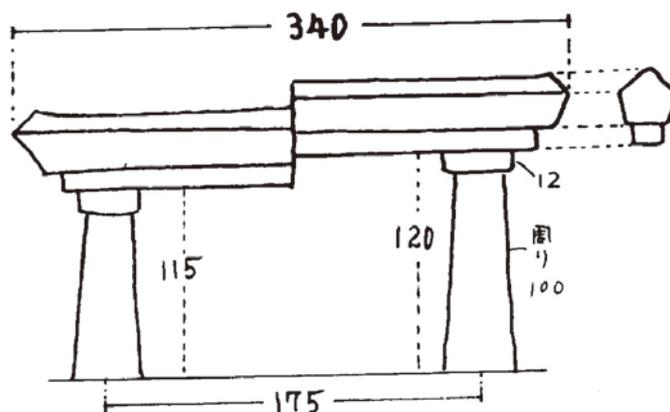
14	<p>歴史ある文化財があるのに点でしかなく、又、地区の人も知らないし興味を持っていない。子供達にも自分の地区の歴史の流れを分かるようにする必要はある。</p> <p>松ヶ崎と言っているけれど牛根全体で考えないと自己満足に終わると思う。</p>
番号	④その他
1	特に無し
2	？
3	<p>一部の人だけでいろいろな事が進んでいる。もっと住民に説明が必要だと思う。</p> <p>公園を作ってもその後の維持・運営管理が不明である。</p> <p>生活道路の整備の方が重要である。</p>
4	市の仕組み、人間の質、全てよその市と比較して何が良くて何が悪いか反省、見直しをしてから松ヶ崎づくりとかを論議すべきではありませんか？
5	松ヶ崎以前に行政の怠慢を直すのが必要と思います。市としての根本的な手直しが必要です
6	<p>道の駅垂水を拠点とした人・物のながれあるなかで、企画・アイデア・知恵を出し合って松ヶ崎にしかできない松ヶ崎づくりが活路がひらけてくると思います。</p> <p>(例) . 旧大隅線 (牛根麓～道の駅垂水～辺田、太崎観音) の区間の跡地の利用 雄大な桜島 波静かな錦江湾をバックにサイクリングロード・ジョギング等々活用したらと思っています。</p> <p>まず先に道路の整備が必要。桜・イチョウの樹木をしたらすばらしいと思います。</p> <p>この地、松ヶ崎をすきになってもらうこと！</p> <p>まずこれから始めたらいいと思いますが！</p>
7	松ヶ崎の歴史をもっと知ってもらうためにマップを作成しいろいろな場所に置く

## 資料 2

### (1) 松ヶ崎地区関連記事

「牛根麓稻荷神社の埋没鳥居」垂水市指定文化財（天然記念物）への登録

- 1 所在地  
垂水市牛根麓 675-1  
※国道 220 号沿いの牛根麓居世神社後方約 500m の小高い場所
- 2 所有者  
牛根麓 456 (久富木 アツ子様方) 久富木 哲氏
- 3 埋められた噴火の年代  
大正 3 年 (1914) 1 月 12 日の桜島噴火による
- 4 埋没前の高さ  
鳥居石高一丈一尺五寸 (約 3.7m) 【『牛根神社帳』より】
- 5 現在露出している寸法 ※下図参照 高さ約 1.45m



#### 6 歴史的背景

天正 2 年 (1574) 牛根城 (入船城) が落城し、安楽備前守兼寛より城明け渡しを受けた島津義久は、部下の伊集院魯笑齋久道を牛根郷の地頭として治めさせました (久道の治世は長くはなく、4～5 年で伊集院の石谷へ所換えし、後に鎌田政年 (寛栖) が赴任)。

久道は民心を慰撫し島津の権勢を誇示するために、島津氏の氏神である稻荷神社を創建したとされています。「三国名勝図会」によると、「天正 2 年甲戌 (きのえいぬ、こうじゅつ) 9 月 13 日、地頭伊集院魯笑齋久道、創建せしこと、棟札に見えたり」とあります。神体は久道が奉納した掛け軸であったといわれていますが、現存していません。また、伊集院久道が牛根城にあった荒神を降ろして合祀したともいわれています。

牛根神社帳によると「祭日 9 月 13 日と 11 月 28 日神供三膳、神楽内侍舞神社四敷二間、上家茅葺（かやぶき）、鳥居石高一丈一尺五寸（約 3.7m）、向拝より八間」とあります。

しかし、大正三年の桜島大爆発の降灰により埋没し、現在は約 1.45m まで掘り出したこの鳥居が現存するのみです。社殿の一部には月輪の石灯籠（寛政 6 年（1794）竹下金蔵奉寄進）があります。神楽等の踊りが盛んで、大変賑わったものだと言われていると伝えられています。

#### 7 文化財に指定する理由について

牛根麓の埋没鳥居は島津氏ゆかりのもので、近世垂水の歴史研究上大変貴重な資料ですが、それ以上に大正 3 年の桜島大噴火の猛威を示す貴重な記念物といえます。牛根麓も被害は甚大で、道路田畑には約 90～120 cm の降石灰が堆積し、松ヶ崎小学校校舎、村役場、民家 32 戸が降石灰により倒壊した他、多くの避難民を出しました。

桜島黒神の埋没鳥居が県の天然記念物として指定され、稲荷の鳥居も同等の価値があるものと判断されたことから、これを保護して後世へ伝えようとするため、垂水市天然記念物として指定されました。

市教育委員会資料参照



▲展望公園完成花見会（平成 24 年 3 月 31 日）

錦江湾より豊かに  
児童、マダイ放流

重水市牛根麓沖合の錦江湾で23日、市立松ヶ崎小学校の児童15人がマダイの稚魚約1万匹を船上から放流した—写真。体長は8センチ前後で、2年で30～40センチに成長するという。

かごしま豊かな海づくり協会が各漁協、各市町村と協力して実施。7月7日まで本土周辺で合計88万匹を放流する予定という。協会によると、錦江湾でマダイの水揚げが減ったため、約30年前に始めた。

児童らは、湾内のブリの稚魚モジャコやハマチのいけすも見学。加世田亨子校長は「小学校からは湾内で跳びはねるイルカの姿も見える。今日は錦江湾の恵みを感じることが出来て有意義でした」と話していた。

平成23年6月24日  
朝日新聞



# 岡山観光人口の宇喜多秀家没

## 潜居跡訪ね冥福祈る

重 泉

岡山観光人口に拍撃を  
 与えた岡山観光人口の宇喜多秀家没  
 家没の山隠居跡を訪ねて  
 岡山観光人口に拍撃を  
 与えた岡山観光人口の宇喜多秀家没  
 家没の山隠居跡を訪ねて



岡山観光人口に拍撃を  
 与えた岡山観光人口の宇喜多秀家没  
 家没の山隠居跡を訪ねて

平成 23 年 11 月 8 日  
 南日本新聞

# 垂水の埋没鳥居 観光掘り起し

## 遊歩道・展望広場整う 「花見楽しめる場にも」



埋め立てた鳥居跡に仮設歩道をつくる。垂水市川原町

川原町遊歩道整備株式の建設現場

垂水市川原町鳥居跡の小高い丘に、桜島の噴火に伴う灰で埋まった鳥居がある。これをどう取り除いていかなかったか、建設費が膨らむ懸念は強まってきた。「みんなが使える場所にしてよ」と工場の所有者が目標を定めてきた。対して

埋没イベントがあり、関係者は新たな観光スポットに期待を寄せた。歴史的価値のある鳥居跡社の鳥居、土籠を1・6メートル残し土中に埋まっている。元々は約3・5メートル、桜島の埋没時に約2メートルと短く、埋没の1



埋没約2メートルの埋没鳥居跡からは、数メートル先の埋没火口から噴煙を上げているのが見える。掘り起しを機が行き渡す。土地の所有者、垂水久留木製紙工業(株)によると、「埋没した鳥居跡は、埋没の人たちが集まり、一帯中、花見を楽しめる場所を作りたい」と考え、土籠は約1メートル、土籠を埋め、埋没の歴史を伝えるマンパルなど土籠の木を伐採したり、草を踏み抜いたりしてきたという。

埋没の木も植え、基本には

平成 24 年 4 月 1 日  
朝日新聞

った。この際、初めて花が咲いたという。ツツシチチツツも種だが、アササイも種々の予定だ。価格は1000万円をかけた。1000坪の遊歩道や展望広場、70坪の駐車場を作った。市は自らには観光客動員として文化館に併設。遊歩道となる前に自転車置き場、観光客にトイレを併設してでも計画もあるという。



聖水

岡山

# 宇喜多秀家が縁で交流 「温故知新で末永く」 郷土史研究会が姉妹提携

「関ヶ原の戦い（一六〇〇年）で敗れた徳川岡山の史料、宇喜多秀家（一五七七～一六〇五）が縁で交流する歴史、岡山岡山の郷土史研究会がこのほど、姉妹交流の提携協定に調印した。秀家を語る歴史教育の情報交換や人的な相互往來を通じて関係を深める。

調印式は、岡山支隊の通っ手から通れた岡を一時閉かくなった



岡山支隊の通っ手から通れた岡を一時閉かくなった

岡山支隊の通っ手から通れた岡を一時閉かくなった

岡山支隊の通っ手から通れた岡を一時閉かくなった

岡山支隊の通っ手から通れた岡を一時閉かくなった

岡山支隊の通っ手から通れた岡を一時閉かくなった

【新聞後】

# 40年前の郷土本販売

松ヶ崎  
研究会 益金は地区に還元 垂水



「落日後の平家」を手にする松ヶ崎郷土史研究会の村山大海さん  
＝重水市牛根嶺

重水市の松ヶ崎郷土史研究会が、地元ゆかりの郷土史家、故水井彦麿氏（向市牛根嶺出身）の著書「落日後の平家」を今月上旬から販売している。家族から寄贈された約100冊で、1972年発行の増補第2版。益金の大半は、牛根嶺地区の神社などの修繕費に充てられる。著書は約600冊。増補版は約600冊。増補版は約600冊。増補版は約600冊。

の足取りを追うもので、鹿児島県内にある落人伝説の集落や、安徳天皇の陵墓とされる場所が牛根嶺にあることなどを紹介している。

元教諭の水井氏は、大隅地域全体の歴史や伝承を調査する「大隅史談会」の初代会長。松ヶ崎郷土史研究会会員の村山大海さん（71）も向市牛根嶺が、水井氏の孫横山修子さん（61）も宮崎市丸丸町の遠戚だったことから眠っていた著書を寄贈してもらった。

村山さんは「歴史に興味のある人はぜひ手にとってみて」。横山さんは「著書が牛根嶺の役に立てば祖父も喜ぶはず」と話した。送料込みで5500円。村山さん10994（32）2138。（稲垣大介）

平成 25 年 9 月 25 日  
南日本新聞



▲松ヶ崎小・校区合同秋季大運動会

## あ と が き

市民生活を営む上で大切となる地域づくりは、公民館を拠点として活動していくことが望まれています。

今回、第4次垂水市総合計画に沿って地域の特性を生かしたまちづくりを地域住民の手で進めていく地域振興計画について、3月20日に松ヶ崎づくり計画策定に向けて鹿大の小栗有子准教授の講演を受け、4月12日の松ヶ崎地区公民館運営委員会で松ヶ崎づくり計画の策定が了承されました。

5月28日には第1回松ヶ崎づくり計画策定委員会をスタートさせ、先進地視察や市役所関係課長との意見交換会など8回の策定委員会を実施することが出来ました。

これまでの策定委員会を踏まえ、松ヶ崎においては松ヶ崎のありたい姿を「歴史と景観に恵まれた松ヶ崎を、道の駅を生かして広めたい」と定め、住みやすい・美しい・魅力ある・みんなが集う松ヶ崎づくりを推進し、私たちの願う松ヶ崎の姿を求めていきます。

今後、行動計画に掲げた松ヶ崎の有るべき姿を求め、「松ヶ崎づくり計画」を実行するにあたり、校区民の皆様のご協力が必要不可欠です。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

結びに、この策定委員会にご協力いただきました垂水市企画課の職員の皆様と策定委員の皆様、松ヶ崎校区民の皆様に心からお礼を申し上げまして、あとがきといたします。

松ヶ崎地区公民館長

松ヶ崎づくり計画策定委員会委員長 久徳 洋一

歴史と景観に恵まれた松ヶ崎を、  
道の駅を生かして広めたい  
～松ヶ崎づくり計画～（初版）

---

発行年月	平成25年10月
編集・発行	松ヶ崎地区公民館 松ヶ崎づくり計画策定委員会 〒899-4632 鹿児島県垂水市牛根麓1139番地9 ☎0994-36-2882
協働制作	垂水市役所関係各課 松ヶ崎地区地域担当職員 企画課地域政策係
印刷	有限会社 垂水中央印刷

---

